

平成27年度 第2回地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会

1. 日 時

平成27年6月24日（水） 午後1時25分から午後2時00分

2. 場 所

下関市立市民病院 2階 講堂

3. 次 第

- (1) 開会
- (2) 委嘱状交付
- (3) 議題
- (4) その他
- (5) 閉会

4. 配布資料

- ・資料1 地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会条例
- ・資料2 地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会運営要綱
- ・資料3 地方独立行政法人下関市立市民病院第2期中期目標（案）

5. 議事録（概要） ※次頁以降

平成27年度第2回地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会の議事概要

1. 開催日時

平成27年6月24日（水）13時25分～14時00分

2. 開催場所

下関市立市民病院2階講堂

3. 出席者

- ・ 下関市立市民病院評価委員会
弘山委員長、園田委員、杉浦委員、飯野委員、佐々木委員
- ・ 下関市立市民病院
田中理事長、池永理事 ほか
- ・ 下関市
中尾市長、坂本副市長、大崎市民部長、中野市民部次長、
山本病院管理課長 ほか3名

4. 内容

(1) 委嘱状交付

(2) 議題

地方独立行政法人下関市立市民病院の第2期中期目標策定について

- ・ 前回（5月18日）の評価委員会以降の委員からの意見等の提出状況について事務局より説明

質疑応答・意見等（◎委員長発言 ○委員発言 ●事務局発言 ▽法人発言）

- これから策定する地域医療構想（ビジョン）の進捗状況はどうなっているのか？

- ◎ 下関医療圏に係る地域医療構想の第1回目の会議が4月に開催された。7月末からは山口県が県内の各医療圏域を回って協議会を開催する予定であり、下関医療圏については8月頃の開催になると思われる。市民病院からは田中理事長が委員として出席されているが、意見を言って頂ければと思う。今後

の予定として第3回目が秋頃に開催される。下関圏域からのデータが出たところで議論を行い、その結果をまとめた地域医療構想の素案が出る予定であり、その素案に対して協議を行うことになると思われる。その後、県がまとめて、パブリックコメントを募集し、進めていく予定と聞いている。

○ 2次医療圏の変更はあるのか？

◎ 山口県の場合、現在の8医療圏のままと聞いているし、下関医療圏も現状のままと思われる。他の医療圏は市町村合併で、行政の区割りと少し異なっているところがある。今後は、患者の流入・流出について考慮することになるとと思われる。

○ 病棟編成について検討することになるのか？

● 地域医療構想のガイドラインが今年3月に出たが、県に提出した資料はその前であり、急性期病床として出した。県のアンケート結果を見ると高度急性期病床は少ないが、市民病院には高度急性期病床もあり、現在、ガイドラインに沿って洗い出しを行っている。

◎ 県が出した報告書の内容を見ると、下関の場合、高度急性期病床が少ない。ほとんどが急性期病床であった。下関市内のある診療所は病床数19床全てを高度急性期病床として報告していた。もう少しきちんとしたものを提出する必要がある。今年9月にはガイドラインがまとまる予定である。市民病院の場合、現在、休床している病床があるが、休床している病床は県知事の権限で削減される可能性がある。今後の病診連携を考えた場合、1病棟くらいは地域包括ケア病棟を作っても良いと思うので検討が必要と思われる。

○ 今後は、高度急性期病床の要件が厳しくなる。HCUや救急救命センターをイメージしている。また、高度急性期病床は大学病院のイメージもある。高度急性期病床と急性期病床の差が大きくなる。

● 市民病院は救急医療の役割も担っているが、今後検討したい。

◎ 来年4月の診療報酬改定で、レセプトに患者が入院している病棟名を記載することになる。病棟ごとのデータがオープンになり、外部からやっていないのではと指摘されることも考えられるので、病床区分については検討していただきたい。

◎ 評価委員会として、第2期中期目標（案）については原案のままで良いか？

○ 原案のままで、全委員了承

(3) その他

- ・事務局より、第2期中期目標（案）について、今後、市民を対象としたパブリックコメントを実施し、パブリックコメントで提出された意見等を取りまとめて、7月29日に開催予定の評価委員会で報告する旨を説明